

五感を研ぎ澄ませ、自然を学ぶ

■東根小学校「緑の少年団」

5月25日、「緑の少年団」結団式が東根小学校学校で行われました。今年度も同小学校の4年生が新たに入団し、町農林課職員よりトレードマークである緑の帽子とネックチーフ、そして団員の証であるワッペンが授与されました。

翌日には、森林インストラクターと県森林整備課の職員を講師に迎え、東根小学校学校林の宝山で自然体験活動が行われ、団員たちは視覚や聴覚など五感を研ぎ澄ましなが、身近にある自然を観察しました。

児童たちは、見るもの、聞くもの、初めてのことも多く、自然の不思議に心躍らせていました。

▼インストラクターの説明に興味津々▼



白鷹中1年生による紅花栽培

■間引いた若菜を給食で味わう

5月26日、白鷹中学校1年生による間引き作業が行われました。

4月にまいた種は順調に成長しており、今回は若菜と若菜の間が10センチ間隔になるように間引き作業を実施。丁寧に作業を進め、途中からは収穫と選別のチームに分かれての作業となり、生徒や地域の方々の連携により約1時間で完了。収穫した若菜は調理場で調理され、給食に「緑黄色野菜のみそ汁」として提供されました。

生徒たちは、地域の方々や調理場の方々の協力により作業が実施できることに感謝しながら、提供された給食を「おいしい！」と笑顔を浮かべながら食べていました。



▲黙々と紅花の若菜を間引く生徒たち



町民の安心・安全を守る

■令和3年度春季消防演習

5月30日令和3年度春季消防演習が役場駐車場を会場に開催されました。

今演習は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内容の縮小や参加団員を絞り、感染対策を徹底した形での開催となりました。火災防ぎょ訓練では、令和元年度に完成した、町づくり複合施設の無事故無災害を祈念し、各分団による一斉放水（祝賀放水）が実施され、見事な訓練が披露されました。

2年ぶりの開催となりましたが、団員の方々のきびきびとした行動や士気の高さで、滞りなく執り行われました。今後も町民の安心・安全を守る白鷹町消防団です。



▼各分団による一斉放水（祝賀放水）



TOPICS

トピックス

&

まちのホットな話題
をお届けします！

スポーツ

SPORTS

澄み切った青空のもと

■白鷹山夏山開き

「高い山の日」の5月13日、「白鷹山夏山開き」が開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小し、白鷹町の関係者や当日訪れた登山客などで白鷹山での無事故を祈願したあと、夏山開き宣言が行われました。宣言では、「コロナの早期収束と、山の名を背負う町内出身力士の白鷹山関の活躍を祈る」と横澤副町長があいさつを述べました。

2年ぶりの開催となった白鷹山夏山開きでしたが、当日は雲一つない青空で、新緑に吹く心地よい風を感じながらの登山となりました。また、山頂からは月山や朝日連峰の山々が確認でき、登山客を出迎えてくれました。



▲山開きセレモニーの様子



GIGA スクール構想

■タブレット端末運用スタート！

GIGA スクール構想として、昨年度から準備を進めてきた1人1台端末や高速通信ネットワークの整備が終わり、今年度からいよいよ運用がスタートしました。

4月初めに各小中学校の教職員を対象としたICTベーシック研修会を実施し、4月末からは、蚕桑小学校を皮切りに町内すべての学校でタブレット端末の活用がスタートしました。

各小中学校の児童生徒は、町からの貸与であることの説明や利用のルールへの指導を受け、一人一人が大切に扱いながら、電源を入れていました。操作が始まると、家庭でスマホやタブレット端末に触れている児童生徒が多く、ページをめくるように慣れた手つきで画面をスライドさせていました。各校のお便りでも学習の様子が紹介されています。

早速、タブレットで漢字練習！▼

